

令和 5 年 度  
事 業 報 告

一般社団法人 日本工業用水協会

# 目次

1. 会 務 .....	1
(1) 会員の現況 .....	1
(2) 総会 .....	1
(3) 理事会 .....	2
(4) 監事会 .....	4
(5) 協会運営委員会 .....	4
2. 工業用水道事業の推進.....	6
(1) 工業用水道事業施策の要望関連事業 .....	6
3. 事 業 .....	8
(1) 調査研究に関する業務 .....	8
(2) 出版に関する事業 .....	11
(3) 工業用水道管・弁類等製造事業場の認定に関する事業 .....	12
(4) 工業用水道保険事業 .....	13
(5) その他 .....	13

## 1. 会 務

### (1) 会員の現況

令和6年3月31日現在の会員は、下表に示すとおり。

会 員 別	会 員 数	令和5年度	
		入 会 者	退 会 者
正会員	127		
事業者	114		1
利用者	13		
特別会員	32	3	7
関連産業会員	36		1
名誉会員	4		
計	199	3	9

顧問：3名（内名誉会員が3名）（議決権対象は195会員）

### (2) 総会

#### (2) . 1 臨時総会（書面審議）

日 時 令和5年4月24日（月）  
場 所 日本工業用水協会会議室  
会 員 数 197会員（令和5年4月24日現在）  
出 席 会 員 1社員  
代 理 出 席 会 員 1社員  
委 任 状 提 出 会 員 5社員  
議 決 権 行 使 会 員 161社員  
計 168社員

#### 議 題

議案 理事6名の選任の件（案）

#### 概 要

総会運営要領に基づいて日本工業用水協会本郷部長（特別会員）が議長に選出された。会員数及び出席会員数は上記のとおりであり、会員数の過半数以上の出席があり、定款18条第1項の規定により、本臨時総会は成立した。引き続き定款第18条第3項に基づき、次の役員候補ごとに決議を行い、理事6名の選任について、定款第22条（役員の選任）第1項に基づき承認可決された。

理事 弘田 隆彦 殿、金田 学 殿、吉野 美砂子 殿、  
佐竹 義人 殿、宗長 和則 殿、山品 貴史 殿

(2) . 2 定時総会 (第11回)

日 時 令和5年6月5日 (月)

場 所 東京ガーデンパレス 平安の間

会 員 数 197会員 (令和5年6月5日現在)

出 席 会 員 9社員

代 理 出 席 会 員 16社員

委 任 状 提 出 会 員 48社員

議 決 権 行 使 会 員 97社員

計 170社員

議 題

(I) 議案

第1号議案 令和4年度事業報告 (案)

第2号議案 令和4年度決算報告書 (案) 及び監査報告書

第3号議案 役員を選任 (案)

(II) 報告事項

(1) 令和5年度事業計画及び令和5年度収支予算書

(2) 令和6年度工業用水道事業施策に関する要望書

概 要

会長の弘田山口県公営企業管理者の挨拶に引き続き、ご来賓として出席いただいた経済産業省吉田地域経済産業政策統括調整官ほか、総務省原自治財政局長、国土交通省水管理・国土保全局朝堀水資源部長のご祝辞を頂いた。この他に、ご来賓としてご出席いただいた方々等のご紹介を行った。引き続き会長表彰として功労賞9名、有効賞1名、勤続賞44名の内、当日参加の方々の表彰状授与式が執り行われた。

弘田会長が議長となり、議事の開会を宣言後、出席状況について事務局に報告を求め、総会成立が報告された。引き続き議事録署名人について、議長一任の発言に基づき、議長の他、一般財団法人造水促進センター平井顧問、大成機工株式会社鈴木特別顧問が選任された。

各議案について、議長から事務局に議案ごとの説明を求め、事務局から説明を行い、各議案の承認を求めた。すべて原案どおり可決承認された。

(3) 理事会 (第60回～第66回)

(3) . 1 第60回理事会 (書面審議)

日 時 令和5年3月31日 (金)

議 題 令和5年度日本工業用水協会臨時総会の招集に係る提案

定款第36条に基づき、理事および監事の全員に対し正司会長名で、臨時総会招集承認に係る書面決議を提案し、理事全員の同意書、監事全員の通知書を受領し、書面による決議が成立した。

(3) . 2 第61回理事会 (書面審議)

日 時 令和5年4月28日 (金)

議 題 代表理事 (副会長2名) の選定に係る提案

定款第36条に基づき、理事および監事の全員に対し正司会長名で、代表理事 (副会長2名) の選定に係る書面決議を提案し、理事全員の同意書、監事全員の通知書を受領し、書面による決議が成立した。

金田 学 殿を代表理事に選定し、副会長とし順位は1位とする。

吉野美砂子殿を代表理事に選定し、副会長とし順位は2位とする。

(3) . 3 第62回理事会（書面審議）

日 時 令和5年5月9日（火）

議 題 代表理事（会長）の選定に係る提案

定款第36条に基づき、理事および監事の全員に対し金田副会長名で、代表理事（会長）の選定に係る書面決議を提案し、理事全員の同意書、監事全員の通知書を受領し、書面による決議が成立した。

弘田隆彦 殿を代表理事に選定し、会長とする。

(3) . 4 第63回理事会

日 時 令和5年5月16日（火）

場 所 日本工業用水協会 会議室（オンライン会議）

出席者 代表理事（弘田会長）ほか 理事 10名、監事 2名

来 賓 経済産業省 小林工業用水道計画官

議 題

第1号議案 令和4年度事業報告（案）

第2号議案 令和4年度決算報告書（案）及び監査報告書

第3号議案 入会の承認（案）

第4号議案 会長表彰受賞候補者の選考（案）

第5号議案 令和6年度工業用水道事業施策に関する要望書（案）及び実施（案）

第6号議案 令和5年度第11回定時総会招集及び議題並びに議案概要（案）

報告事項

(1) 令和4、5年度のこれまでの事業経過報告

(2) 2015 工業用水道維持管理指針追補版について

概 要

本人確認も含め、出席者の紹介を行った。

会長の弘田山口県公営企業管理者の挨拶に引き続き、ご来賓として出席いただいた経済産業省小林工業用水道計画官から挨拶をいただいた。

弘田会長が議長となり、議事の開会を宣言後、出席状況について事務局に報告を求め、理事会成立が報告された。

各議案について、議長から事務局に議案ごとの説明を求め、事務局から説明を行い、各議案の承認を求めた。すべて原案どおり可決承認された。また、事務局から新技術に関する紹介を取りまとめ、月内にホームページ上で公開することの説明を行い、承認された。

(3) . 5 第64回理事会（書面審議）

日 時 令和5年6月9日（金）

議 題 代表理事（会長、副会長、専務理事）の選定に係る提案

定款第36条に基づき、理事および監事の全員に対し弘田会長名で、代表理事（会長、副会長、専務理事）の選定に係る書面決議を提案し、理事全員の同意書、監事全員の通知書を受領し、書面による決議が成立した。

金 田 学 殿を代表理事の会長に選定する。

吉野美砂子 殿を代表理事の副会長（順位1位）に選定する。

高田 浩幸 殿を代表理事に選定し、専務理事とする。

(3) . 6 第65回理事会（書面審議）

日 時 令和5年6月19日（月）

議 題 代表理事（副会長）の選定に係る提案

定款第36条に基づき、理事および監事の全員に対し金田会長名で、代表理事（副会長）の選定に係る書面決議を提案し、理事全員の同意書、監事全員の通知書を受領し、書面による決議が成立した。

弘田 隆彦 殿を代表理事の副会長（順位2位）に選定する。

(3) . 7 第66回理事会

日 時 令和6年1月16日（火）

場 所 日本工業用水協会 会議室 オンライン併用会議

出席者 理事 11名

監事 2名（ほか来賓1名）

議 題 第1号議案 令和6年度事業計画（案）について

第2号議案 令和6年度収支予算書（案）について

第3号議案 入会の承認（案）

第4号議案 令和7年度工業用水道事業施策に関する  
要望書(素案)及び 実施（案）

報告事項

(1) 令和5年度のこれまでの事業経過報告

(2) 各種委員会等報告について

(4) 監事会

日 時 令和5年5月8日（月）（オンライン会議）

出席監事 福島県企業局 草野次長

大分県企業局 衛藤総務課長

大成機工株式会社 鈴木特別顧問

概 要

本人確認を含めて、出席者の紹介を行った。

定款第24条（監事の職務及び権限）に基づき、監事会（オンライン）で監事による令和4年度事業報告、決算報告書の監査が行われ、会長宛に、それぞれ適正である旨の監査報告書が提出された。

(5) 協会運営委員会

(5) . 1 第1回協会運営委員会

日 時 令和5年5月9日（火）

場 所 日本工業用水協会 会議室 オンライン会議

出席者 宮本委員長（山口県総務課長）ほか9名（全15名）

議 題

1) 第63回理事会提出議案について

2) その他

概 要

委員長挨拶に引き続き、議事の開会宣言後、事務局から委員会成立が報告された。

理事会提出の各議案について、委員長から事務局に説明を求め、議案ごとに承

認を受け、原案どおり第63回理事会議案書とすることが承認された。

(5) . 2 第2回協会運営委員会

日 時 令和6年1月10日(水)

場 所 日本工業用水協会 会議室(オンライン併用会議)

出席者 委員15名(ほかオブザーバー 湯村計画官)

議 題

1) 第66回理事会議案書について

2) その他

概 要

委員長挨拶に引き続き、議事の開会宣言後、事務局から委員会成立が報告された。

理事会提出の各議案について、委員長から事務局に説明を求め、議案ごとに承認を受け、原案どおり第66回理事会議案書とすることが承認された。

## 2. 工業用水道事業の推進

### (1) 工業用水道事業施策の要望関連事業

#### (1) . 1 令和6年度工業用水道事業施策に関する要望

日 時 令和5年6月5日(月)、6日(火)

参加者 弘田会長ほか、12名

要望先 (6/5) 環境省環境再生・資源循環局、  
(6/6) 経済産業省、総務省、国土交通省、資源エネルギー庁  
(自民党)

#### 概 要

第63回理事会で承認された要望事項等について、正副会長、事務局等で構成する要望団により、環境省環境再生・資源循環局、経済産業省、総務省、国土交通省、資源エネルギー庁あて、要望活動を行った。なお、各省庁との意見交換のうち経済産業省においては、向野地域産業基盤整備課長を交え実施された。

#### (1) . 2 経営委員会・協会運営委員会合同委員会(第1回)

日 時 令和5年5月9日(火)

場 所 日本工業用水協会会議室(オンライン会議)

出席者 経営委員会(委員:13名)

委員長 茨城県武藤業務課長 ほか11名

協会運営委員会(委員:15名)

委員長 山口県宮本総務課長 ほか8名

議 題 1) 令和6年度要望書案について

2) その他

#### 概 要

出席者の確認は、本人確認を含めて、入室時に確認するとともに会議出席予定者名簿を画面共有し出席者確認を行った。

武藤経営委員会委員長、宮本協会運営委員会委員長の挨拶に引き続き、武藤委員長が議長となり、議事に入った。武藤委員長の議事の開会宣言後、事務局から当委員会成立が報告された。

委員長から令和6年度要望書案の説明を事務局に求め、補足説明を協会運営委員会委員長県の山口県に求めた。更に昨年11月の第2回合同委員会以降の経過説明と今後の予定について説明がなされた。

要望日時は、協会の定時総会が行われる6月5日の前後を予定している。

#### (1) . 3 経営委員会・協会運営委員会合同委員会(第2回)

日 時 令和5年10月12日(木)

場 所 日本工業用水協会会議室(オンライン併用会議)

出席者 経営委員会(委員:13名)

委員長 茨城県武藤業務課長 ほか9名

協会運営委員会(委員:17名)

委員長 山口県宮本総務課長 ほか10名

議 題 1) 令和7年度要望素案等について

1-1) 要望書作成方針(案)について

1-2) 要望事項等とりまとめ結果について

1-3) 要望事項等新旧対照表について

2) 予定要望先との意見交換日程調整経過について

### 3) その他

#### 概 要

出席者の確認は、本人確認を含めて、入室時に確認するとともに会議出席予定者名簿を画面共有し出席者確認を行った。

武藤経営委員会委員長が議長となり、議事に入った。武藤委員長の議事の開会宣言後、事務局から当委員会成立が報告された。

委員長から要望事項素案等の説明を前会長県の山口県及び事務局に求め、それぞれから説明が行われた。審議の結果、事務局提案の要望事項素案のとおり了承された。また予定要望先との意見交換日程への追加希望等がある場合、追加等の必要がある場合の確認等も行われた。

#### (1) . 4 令和7年度工業用水道事業施策に関する要望に係る意見交換

日 時 令和5年11月15日(水)

場 所 経済産業省別館1031会議室(10階)

参加者 経済産業省地域産業基盤整備課 湯村計画官 ほか6名  
愛知県企業庁飯田担当課長 ほか8名、Web参加17名

#### 概 要

第2回経営委員会・協会運営委員会合同委員会で承認された、令和7年度工業用水道事業施策に関する要望事項等素案をもとに、経済産業省省との意見交換を実施した。他、総務省には要望事項等素案を送付し意見聴取を行った。

#### (1) . 5 令和7年度工業用水道事業施策に関する要望書素案の意見交換

日 時 令和6年2月13日(火)

場 所 経済産業省別館1031会議室(10階)

参加者 経済産業省地域産業基盤整備課 湯村計画官 ほか5名  
武藤経営委員会委員長 ほか10名、Web参加13名

#### 概 要

第66回理事会で承認された、令和7年度工業用水道事業施策に関する要望書素案をもとに、経済産業省との意見交換を実施した。

### 3. 事業

#### (1) 調査研究に関する業務

##### (1) . 1 工業用水道事業研究大会（オンライン併用開催）

日時 令和6年2月26日（月）

場所 東京ガーデンパレス（2階 高千穂）

出席者 111名（うちオンライン参加 21名）

来賓 経済産業省地域産業基盤整備課 湯村工業用水道計画官 ほか2名  
総務省自治財政局公営企業経営室 橋本室長 ほか1名

##### 概要

事務局の開会挨拶に引き続き、大瀧技術委員会委員長（お茶の水女子大学基幹研究院教授）挨拶（高田専務代読）、ご来賓から総務省橋本公営企業経営室長並びに経済産業省湯村工業用水道計画官からそれぞれご挨拶をいただいた。

10時半から北九州市上下水道局の森木座長のもと、指定課題1「管路等の耐震化・更新事業について」、2「設備管理データのデジタル化について」討議。茨城県、みおつくし工業用水コンセッション（株）、川崎市、三重県からそれぞれ事例紹介が行われ、質疑応答・意見交換が行われた。

午後1時15分から大分県企業局の津末座長のもとに指定課題3「官民連携手法の導入に向けた諸課題について」4「応急復旧事業者の選定等について」及び自由課題の討議。宮城県、大阪広域水道企業団、愛知県、岩手県、山口県からそれぞれ事例紹介が行われ、質疑応答・意見交換が行われた。

最後に午後3時40分から愛知県企業庁の神谷座長のもとに指定課題5「管路デザインビルドに係る取組状況について」が討議され、日本ダクタイル鉄管協会から水道における事例紹介、神戸市から2段階契約事例の紹介、愛知県から今後の発注に向けた準備状況に係る事例紹介の後に質疑応答・意見交換が行われた。

また、関連産業会員から技術情報発表として、（株）クボタから「自動グルーピング手法を用いた水道管路の総合評価システム」の発表が行われた。

##### (1) . 2 第59回研究発表会（オンライン併用開催）

日時 令和6年2月27日（火）

場所 東京ガーデンパレス（2階 高千穂）

出席者 131名（うちオンライン参加 26名）

##### 概要

小泉編集委員会委員長（東京都立大学都市環境学部特任教授）及びオンラインにて参加いただいた経済産業省松田補佐からそれぞれご挨拶をいただいた。その後、小泉委員長から、論文賞「大阪市工業用水道特定運営事業の紹介と先進デジタル技術」が、みおつくし工業用水コンセッション株式会社後藤様へ賞状等が贈られた。続いて日刊工業新聞社賞「自動配管設計支援システム パイププロの開発」が日刊工業新聞社小松参与から株式会社クボタ橋井様へ賞状等が贈られた。

続いて研究発表に入り、上記受賞記念講演のほか12件の研究発表があり活発な質疑応答が行われた。

##### (1) . 3 経営・技術 合同委員会

日時 令和5年10月23日（木）

場所 日本工業用水協会 会議室 オンライン併用会議

出席者 経営委員会委員9名、技術委員会委員10名

## 議 題

- 1) 令和5年度工業用水道事業研究大会について
  - ・ 検討課題の選定について
  - ・ 開催スケジュール（案）
- 2) その他

## 概 要

研究大会で取り上げる議題について、次のとおり決定した。

### 指定課題

1. 管路等の耐震化・更新事業について（技術関係）
2. 設備管理データのデジタル化について（技術関係）
3. 官民連携手法の導入に向けた諸課題について（経営関係）
4. 応急復旧事業者の選定等について（経営関係）
5. 管路デザインビルドに係る事例研究（技術/経営関係）

### 自由課題

1. 熱中症対策等について（技術関係）
2. ポンプ施設等の運転管理体制について（経営関係）
3. 施設更新事業に係るユーザー対応等について（経営関係）

## (1) . 4 編集委員会（後述の（2）. 1⑤参照）

日 時 令和5年12月15日（金）

場 所 日本工業用水協会 会議室（リモート併用会議）

出席者 小泉委員長ほか13名

### 概 要

今年度論文賞及び日刊工業新聞社賞が選考された。論文賞表彰規程第 3 条、日刊工業新聞社賞表彰規程第 3 条（選考）に基づく選考結果は次のとおり。

## 論文賞

みおつくし工業用水コンセッション株式会社

「大阪市工業用水道特定運営事業等の紹介と先進デジタル技術」

日刊工業新聞社賞

株式会社クボタ

「自動配管設計支援システム PIPE-Pro」

## (1) . 5 技術委員会

日 時 令和5年12月23日（木）

場 所 日本工業用水協会 会議室 オンライン併用会議

出席者 大瀧委員長ほか10名（技術委員 18名）

### 議 題

- 1) 維持管理指針改定のためのアンケート結果報告
- 2) その他

### 概 要

現行版の維持管理指針の改定箇所についての検討を行った。

結果、AIやIoTに関連した追補版を最新版に補強しつつ本冊子に取り込み、さらに充実させることなどを中核として、令和6年度に改定小委員会を立ち上げ、関連産業委員の参画を得て改定作業を進めていくことが決定した。

## (1) . 6 関連産業委員会

関連産業委員会は、協会事業の一環として毎年度、全国の工業用水事業体にご協力をいただきながら、工業用水道施設の先進事例やご当地の受水企業を視察し関連産業会員各位の研鑽の場としている。

ア 第1回関連産業委員会

日 時 令和5年7月11日（火）

場 所 日本工業用水協会 会議室

出席者 田村委員長ほか11名、オブザーバー 湯村計画官ほか1名

議 題

- 1) 令和元年度関連産業委員会事業報告（案）
- 2) 令和元年度関連産業委員会収支決算報告（案）
- 3) 令和5年度関連産業委員会事業計画（案）
- 4) 令和5年度 収支予算（案）
- 5) 工業用水道事業研究大会における関連産業会員による技術情報の発表の実施方法（案）

イ 第2回関連産業委員会

日 時 令和5年10月26日（木）

場 所 愛知県 明治用水頭首工 ほか

出席者 田村委員長ほか9名、来賓 湯村計画官ほか4名

金田愛知県企業庁長ほか3名、事務局3名 計22名

概 要

令和4年5月に発生した愛知県明治用水頭首工の漏水事故（ゲートアンダーパス）の現場視察と復旧状況の説明（農水省）を受けたのち、湯村計画官から「工業用水道を取りまく最近の動向等について」と題して、現在の工業用水が置かれている状況と進むべき方向性に関して講演をいただいた。

(1) . 7 水道分野における官民連携推進協議会（第1回～第4回）

ア 第1回協議会（福島県開催）

- ・日 時 令和5年7月20日（木）
- ・場 所 郡山市「南東北総合卸センター協同組合（イベントホール）」
- ・出席者 水道関係事業体41名  
民間企業60名
- ・事例紹介 守谷市上下水道施設管理等包括業務委託  
大阪市工業用水道特定運営事業等  
(みおつくし工業用水道コンセッション(株))

イ 第2回協議会（鹿児島県開催）

- ・日 時 令和5年9月6日（水）
- ・場 所 鹿児島県医師会館（3階 中ホール）
- ・出席者 水道関係事業体42名  
民間企業83名
- ・事例紹介 荒尾市水道事業の包括委託  
大阪市工業用水道特定運営事業等  
(みおつくし工業用水道コンセッション(株))

ウ 第3回協議会（愛知県開催）

- ・日 時 令和5年10月25日（水）

- ・場 所 名古屋国際センターNIC（別棟ホール）
- ・事例紹介 豊橋浄水場再整備事業  
大阪市工業用水道特定運営事業等  
（みおつくし工業用水道コンセッション(株)）

エ 第4回協議会（大阪府開催）

- ・日 時 令和5年12月11日（月）
- ・場 所 大阪合同庁舎1号館 第1別館2階（大）会議室
- ・出席者 水道関係事業者16団体  
民間企業40団体
- ・事例紹介 水道施設包括的維持管理業務の共同発注に向けた取組み  
（河内長野市）  
大阪市工業用水道特定運営事業等（大阪市水道局）

**（2）出版に関する事業**

（2）. 1 会誌「工業用水」編集委員会（第1回～第6回）

ア 編集委員会（第1回）

- 日 時 令和5年4月26日（水）
- 場 所 日本工業用水協会 会議室（リモート併用会議）
- 出席者 小泉委員長ほか11名
- 議 題 1) 5月号の確認  
2) 7・9月号の編集等について  
3) その他

イ 編集委員会（第2回）

- 日 時 令和5年6月22日（木）
- 場 所 日本工業用水協会 会議室（リモート併用会議）
- 出席者 小泉委員長ほか13名
- 議 題 1) 7月号の確認  
2) 9・11月号の編集等について  
3) その他

ウ 編集委員会（第3回）

- 日 時 令和5年8月29日（火）
- 場 所 日本工業用水協会 会議室（リモート併用会議）
- 出席者 小泉委員長ほか13名
- 議 題 1) 9月号の確認  
2) 11・1月号の編集等について  
3) その他

エ 編集委員会（第4回）

- 日 時 令和5年10月31日（火）
- 場 所 日本工業用水協会 会議室（リモート併用会議）
- 出席者 小泉委員長ほか15名
- 議 題 1) 11月号の確認  
2) 1・3月号の編集等について  
3) その他

オ 編集委員会（第5回）

- 日 時 令和5年12月15日（金）  
場 所 日本工業用水協会 会議室（リモート併用会議）  
出席者 小泉委員長ほか13名  
議 題 1) 1月号の確認、3・5月号の編集について  
2) 論文賞及び日刊工業新聞社賞の選考について  
3) 第59回研究発表会について  
4) その他

カ 編集委員会（第6回）

- 日 時 令和6年2月15日（木）  
場 所 日本工業用水協会 会議室（リモート併用会議）  
出席者 小泉委員長ほか15名  
議 題 1) 3月号の確認、5・7月号の編集について  
2) 第59回研究発表会について  
3) その他

(2) . 2 出版図書及び出版の企画

ア 会誌「工業用水」No678～No681号発行（5月号～11月号）

イ 広告募集の発信

- ・令和5年5月30日（火）  
会誌「工業用水（7月号）」暑中見舞い広告募集の案内発信。  
21社団体から広告掲載の応募有り。
- ・令和5年11月16日（木）  
会誌「工業用水（新年号）」年賀広告募集の案内発信。  
20社団体から広告掲載の応募有り。

ウ 2023年版会員名簿の発信

- ・令和5年7月27日（木）  
会員名簿（2023年度版）PDF版を送付するとともにホームページ  
を更新。

エ 工業用水道実務必携2024の編集（発行準備）

- ・令和5年3月  
補助金交付要領改正等に併せて2024版を編集。発行は令和6年度を予定。

(3) 工業用水道管・弁類等製造事業場の認定に関する事業

(3) . 1 工業用水道管・弁類等製造事業場の認定に関する事業

事業体委員で構成される「管・弁類等製造事業場認定委員会により、製造事業場の設置、検査法、品質管理等について審査を行った結果、下記5事業場を認定工場として承認した。

認定更新日	認定番号	認定事業場名	認定の対象となる製品の名称
5・4・1	日工協認第35号	前澤工業(株) 埼玉製造所	弁類
5・4・1	日工協認第36号	(株)クボタ 枚方製造所	弁類
5・4・20	日工協認第31号	幡豆工業(株)	ダクタイル鋳鉄異形管 弁類
5・6・30	日工協認第11号	JFEエンジニアリング(株)鶴見製作所	水輸送用塗覆装鋼管直管及び異形管
5・8・1	日工協認第60号	コスモ工機(株)秋田工場	塗膜装鋼管異形管・不断水用バルブ 伸縮可撓管ほか

### (3) . 2 工業用水道管・弁類の委託検査

工業用水道で使用するダクタイル鋳鉄管、鋼管、硬質塩化ビニル管、弁類等の検収検査を（公社）日本水道協会との協定により委託した。

### (4) 工業用水道保険事業

工業用水道賠償責任保険及び工業用水道機械設備保険について、  
賠償保険26件、  
機械保険6件、  
延べ32件の加入状況となっている。

### (5) その他

#### ①情報の提供関連

- ・工業用水道給水状況(R3, R4)について取りまとめを行い、事業体会員を中心に情報提供を行った。(令和5年10月10日)
- ・令和5年3月時点の工業用水道事業者における補修用備蓄情報を収集整理し、事業体会員はじめ全国の工業用水道事業体、経済産業省及び独立行政法人水資源機構に情報提供を行った。(令和5年10月30日)
- ・工業用水道料金や供給規定(水圧、水質など)の情報を整理し、事業体会員を中心に情報提供を行った。(工業用水 No.679 2023年7月号)

- ② 工業用水協会「会員専用ページ」への会誌「工業用水」の掲載  
会誌の電子化試行として、No.680(9月号)から工業用水のpdf版を公開。

- ③ 令和5年度 JIS K 0102 体系整備検討及び原案作成委員会参加  
JIS K 0101(工業用水試験方法)と JIS K 0102(工場排水試験方法)の統合を目指して、平成30年度から規格体系の検討を行っている。

規格体系としては、第1部(一般理化学試験方法)～第5部(魚類による急性毒性試験、細菌試験及び生物試験方法)に区分し、規格の様式等を含め JIS K 0102の規格体系整備を行うことを目的として実施している。

委員会の運営については、(一社)産業環境管理協会が事務局として実施しており、当協会は委員として参画している。

本年度は第4部及び第5部のJIS素案作成等の検討を行っている。  
委員会は延べ6回程度、ウェブ開催方式で実施され、今後1回が予定されている。

④ 令和5年度下水試験方法改定調査専門委員会

水質・汚泥試験小委員会参加

公益社団法人 日本下水道協会では、令和4年度から下水試験方法改定のための当該委員会を設けて検討を行っている。当協会は委員として参画している。

本年度は原案作成のための目次編成の検討、試験方法改定の担当分野の決定等の検討を行っている。

委員会は延べ2回程度、ウェブ開催方式で実施されている。